

早稲田大学 政治経済学部 数学 講評

出題形式	記述式
試験時間	60分
特徴・その他	大問が4問から5問に増えた。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
問1	小問集合	(1)は三角比に関する基本問題。(2)は従属な2変数関数の最大最小。(3)はデータの分析。どれも基本問題で確実に得点したい。	易
問2	図形と式	(1)の正方形の頂点の座標が出ればあとは簡単。正方形の頂点を求める際、既存の頂点の90°回転として考えれば解きやすい。(3)は面積に着目するとラク。	標準
問3	2次関数	2次関数の最大最小。文章題になっているが、売り上げとは何か?・利益とは何か?が書いてあるので簡単である。	易
問4	複素数(数学Ⅱ)	(1)は解の配置である。(2)の絶対値が出れば(3)は簡単である。絶対値 $ z $ の定義が与えられているので $ z = \sqrt{(\text{実部})^2 + (\text{虚部})^2}$ であることが分かれば簡単だが、 $ z = \sqrt{z\bar{z}}$ という式の見かけに惑わされた受験生も多かっただろう。	標準
問5	確率	トーナメント戦とリーグ戦による優勝する確率の比較。(2)は2勝1敗しても負けた相手が全勝する場合は優勝できない。このことに気が付くかがポイント。(4)はトーナメントで優勝する確率を出してまずは部分点を確保したい。	標準

〔総合コメント〕

難易度は昨年より少し簡単になったが、大問の数が1つ増えたので量は少し増えた。問1、問3、問4の(1)、問5の(1)(3)を確実に得点したい。問2や問4は文字が a 、 b と入り込んでいるので差がついた問題になるだろう。